

# うえだ 環境市民会議 News

第47号  
ニュース

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのプロジェクトチームにも参加できます。参加ご希望の方は、生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

この情報誌は自治センター、公民館、図書館、情報ライブラリー、市生活環境課の窓口で配布しております。

発行：うえだ環境市民会議

〒386-8601 上田市大手一丁目11-16  
上田市生活環境課内

電話：0268-23-5120

FAX：0268-22-4127

E-mail seikan@city.ueda.nagano.jp

## 「堆肥センター見学会」

うえだ環境市民会議 ごみ減プロジェクトチーム  
大内 薫

去る9月25日に、環境学習の一環として「東御市生ごみリサイクルセンター（通称：エコクリーンとうみ）」と「JA信州うえだ塩田堆肥センター」の2ヶ所の見学会に参加しました。参加者は29名でした。

両施設ともに生ごみを有用な資源と捉え、可燃ごみと分けて堆肥化しています。「エコクリーンとうみ」は、「生ごみ」を軸にした「資源循環型施設」です。昨年12月に田中と滋野地区から生ごみの分別回



▲エコクリーンとうみへ搬入された生ごみ



▲エコクリーンとうみの一次発酵装置



▲エコクリーンとうみの二次発酵槽

収が始まり、2020年には東御市全域で生ごみ分別回収が行われるとのことでした。まだ稼働したばかりですが順調のようでした。東御市の人口が少ないこともあってか施設は想像以上にとてもコンパクトなもので、最新の技術が導入されていました。

「JA 信州うえだ塩田堆肥センター」は1983年から稼働しており、現在はJAと市が協力して、自校式給食で出る生ごみと上田市民から自家処理された「乾燥生ごみ」と「ぱっくん」で処理した生ごみを家畜糞尿やおが粉などの副資材と混合して発酵させ、できた堆肥は「スーパーコン」として売られ、農作物の生産に使われています。こちらも生ごみの減量を図り、地域資源の循環と地産地消の促進を目指しているとのこと。



▲ 1983年から稼働している  
JA 信州うえだ塩田堆肥センター

生ごみは有機肥料です。安心・安全な肥料となり、美味しい野菜・元気な花を咲かせてくれます。私たち“ごみ減チーム”のキャッチフレーズ「生ごみは宝です。安全な有機肥料にしましょう」を改めて感じた一日でした。焼却ごみを減量する方法の一つとして焼却ごみとして出されている生ごみを分け、生ごみを有効活用する啓発活動につなげたいと思います。両施設ともにお忙しい中、大変ご親切にご説明いただきありがとうございました。この紙面をお借りして御礼申し上げます。



▲ JA 信州うえだ塩田堆肥センターのスーパーコン

## 『第6回 環境をよくしたい人大集合2018』のお知らせ

日頃より地域で環境活動に取り組まれている皆様にお集まり頂き、お互いの活動を紹介し合うとともに、今後へのつながりを深めましょう。

月 日：12月1日（土）

時 間：13：30～16：30 各団体の発表。

16：30～17：00 交流会。

会 場：塩田公民館

申し込み：ステージ発表、パネル展示発表の申し込みは下記にお願い致します。

なお、申込締め切りは10月30日（火）です。

申 込 先：上田市生活環境課 TEL 0268-23-5120（担当：関谷）

FAX 0268-22-4127